

製品名: FGF-23 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10933**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF23
別名	FGF23; HYPF; Fibroblast growth factor 23; FGF-23; Phosphatonin; Tumor-derived hypophosphatemia-inducing factor
遺伝子 ID	8074.0
SwissProt ID	Q9GZV9
免疫原	抗血清はヒト FGF23 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

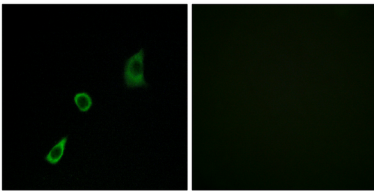
この遺伝子は、広範な細胞分裂促進作用および細胞生存活性を有し、様々な生物学的プロセスに関与する線維芽細胞増殖因子ファミ

リータンパク質のメンバーをコードしています。この遺伝子産物は、腎臓におけるリン酸の恒常性と輸送を制御します。全長の機能タンパク質は、N末端鎖およびC末端鎖への切断によって不活性化される可能性があります。この切断部位の変異は、常染色体優性遺伝性低リン酸血症性くる病（ADHR）を引き起こします。この遺伝子の変異は、高リン酸血症性家族性腫瘍性石灰沈着症（HFTC）にも関連しています。[RefSeq 提供、2013年2月]、疾患：FGF23の欠陥は、高リン酸血症性家族性腫瘍性石灰沈着症（HFTC）の原因です[MIM:211900]。HFTCは、高リン血症と皮膚および皮下組織への大量のカルシウム沈着を伴う重度の常染色体劣性代謝疾患です。、疾患：FGF23の欠陥は、常染色体優性低リン血症性くる病（ADHR）[MIM:193100]の原因です。ADHRは、血清リン濃度の低下、くる病、骨軟化症、脚の変形、低身長、骨痛、歯の膿瘍を特徴とします。、PTM：分泌後、N末端フラグメントとC末端フラグメントに処理されます。この処理は、プロタンパク質転換酵素によって行われます。、類似性：ヘパリン結合成長因子ファミリーに属します。、

研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アクチンと細胞骨格を制御;がんの経路;黒色腫;

画像データ



FGF23抗体を用いたHUVEC細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。